

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

サロン通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

第2号 2021年5月1日発行

今回は僕が
担当します！

移住してきた
スタッフが紹介！



地域おこし協力隊
益子 晴貴

栃木県鹿沼市の酒屋に生まれ、
跡継ぎとして育てられましたが、
仕事の関係で千葉・東京・神奈川
に移り住んできました。
前職は不動産会社に勤務してお
り、協力隊ミッションでもある
「移住・定住」のお手伝いになれ
ばと思い志願しました。
大田原には奥さんの実家もあり、
盆暮れ正月に帰省すると、綺麗な
山々が見え、夜になると星も綺麗
だったため、「田舎っていいな
一、生活している風景がこんな景
色だったらなー」っと思うようにな
ったんです。
そして昨年5月より、多くの自然
に囲まれた大田原での暮らしが始
まりました。

大田原に来てよかったです



屋上に上がっても
ビルしか見えませんでした…。

旬の野菜で
食卓が豊かに



野菜を大量に頂いたことがあります。昨年は勤務初日にタケノコを
いただきました！

田舎に来たはずが
便利な生活に



週末は
娘とトコトコで
遊んでいます
♪

以前、住んでいた新横浜では近くにスー
パーがなく、食材を買うのも一苦労でした。
大田原は買い物が便利です！

こんな相談を
受けています



移住コーディネーター
西崎

この1ヶ月で戸建ての賃貸
物件に住みたいという移住
相談を6件受けました。戸
建てに住みたい方が多いよ
うに感じています。

「家庭菜園をしたい」
というご相談も多い
です！

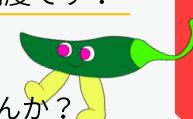


地域おこし協力隊
白井

移住したい人が物件を探す際、注目している制度です！

使っていない・住んでいない物件を

「空き家バンク」に登録しませんか？



「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録
していただき、利用したい方に情報提供する制度です。
詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課

0287-23-1916

こんにちは！ 大田原市移住・定住交流サロンです。
昨年4月から大田原市役所A別館2階で、移住したい方の相談窓口業務を3名体制で行っています。

「えっ？！こんなところが魅力なの？！」

大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること。それが移住してきた人にとっては「魅力」を感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。あなたの感じている大田原について、是非！教えてください！！

お問合せ

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課

大田原市本町1-4-1

大田原市役所A別館2階

0287-23-8794



いいね！フォローを
お願いします！